



病院情報システム (HIS) とシステム室

事務部 システム室

病院情報システム (HIS) とは？

病院情報システムは、電子カルテをはじめとする病院全体の診療・会計業務の効率化を目指すシステムの総称で、HIS (Hospital Information System) と呼ばれています。導入規模は異なりますが、様々な病院に導入されています。南多摩病院でも電子カルテシステムを中心に様々なシステムが連携し、院内の診療記録、検査結果など院内の情報はほぼすべて電子化され、瞬時に情報を共有することで、患者さんの待ち時間短縮や業務の効率化を行っています。



システム室とは？

病院情報システムは 24 時間 365 日稼働し続けるシステムです。システム室の最大の役割は、このシステムを安定稼働させ続けることです。そのため、業務内容はシステムの中心となるサーバの監視、院内に 350 台以上ある電子カルテ操作を行うパソコンやそれに繋がっているプリンタ等、周辺機器のメンテナンス、医師や看護師など病院職員へのシステム操作のフォローなど業務は多岐に渡ります。患者さんと直接関わることは少ないかもしれませんが、病院情報システムの安定稼働を通じて患者さんへ安定した医療を提供できるよう、日々活動しています。



院内 Free Wi-Fi の整備について

システム室では、以前より多くの患者さんからご要望いただいている院内 Free Wi-Fi の整備を検討中です。外来待ち時間でのご利用や、新型コロナウイルス感染症の影響で現在面会禁止となっている入院患者さんがご家族やご友人とのコミュニケーションの通信手段としてご利用いただけるように、院内全体で利用可能なインフラ整備を行うよう進めております。実現までもうしばらくお待ちください。



医療法人社団 永生会



南多摩病院広報誌

令和 3 年 8 月 第 31 号

みなみ じゅう し せい
南 十 字 星

発行・編集 / 南多摩病院 広報誌作成委員会 042-663-0111 (代表)

〒193-0832 東京都八王子市散田町3-10-1



訪問診療をお考えの方へ

訪問診療科 かとう ひろし
加藤 宏

最近、訪問診療を受ける人が増えていますが、その内容までは広く知られているとはいえません。南多摩病院では、2019 年 9 月に訪問診療を開始していますので、訪問診療でよく耳にする質問にお答えしながら、私たちが行なっている診療の実際をお話しします。

よくある質問



Q 訪問診療は、どのような人が利用できるの？

A 自宅療養または施設入所中であり、長い距離が歩けないなどの理由で通院ができない方が対象です。具体的には、高齢で認知症の方、脳卒中や事故の後遺症や神経難病による重度障害の方、慢性の呼吸器疾患で在宅酸素療法を受けている方、がん末期で自宅での療養を希望する方などが該当します。

Q 訪問診療のメリットは何？

A 医師が定期的に訪問して診療を行うため、患者さんが住み慣れた環境で安心して療養できることが最も大きな利点です。加えて、体調を崩したときにすぐに医師や病院に相談できることから、訪問診療は患者さんにとって心強い味方になるといえるでしょう。



訪問診療科副部長
加藤 宏 医師



在宅でのヒアルロン酸膝関節内注射

Q 訪問診療ではどのようなことをしてもらえるの？

A 1 回の診療時間は 15 分～30 分程度、訪問回数は月に 1～2 回程度が一般です。身体診察や薬の処方に加えて、血液や尿の検査、点滴、関節内注射、在宅酸素療法や人工呼吸器管理、末期がんの疼痛管理、床ずれの処置、巻き爪の治療、尿道カテーテル交換、ワクチン予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌）などを受けることができます。そして、最期までご自宅で過ごしたいと希望される方は、在宅での看取りまで担当医の診療を受けることができます。

当院の訪問診療を受けるまでの流れ

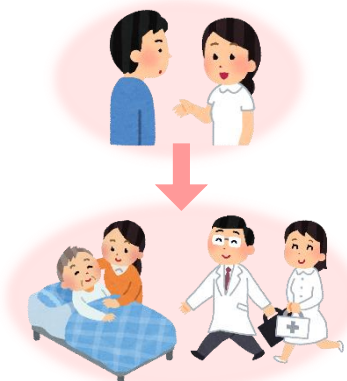


① 訪問診療を申し込む

まずは、担当のケアマネジャー、入院・外来通院先のソーシャルワーカーにご相談下さい。

② 導入前面談（希望者）

訪問診療を契約する前に、患者さんの現在の状況や希望される診療内容をお聞きするとともに、訪問診療の仕組みや緊急時の連絡方法、費用などについて詳しく説明いたします。ご家族様のみの面談でも構いません。



③ 訪問診療の開始

担当となる医師と看護師がご自宅に伺います。事前に得た情報をもとに、体と心の状態、生活環境を確認しながら、診療を始めていきます。

当院が目指す訪問診療



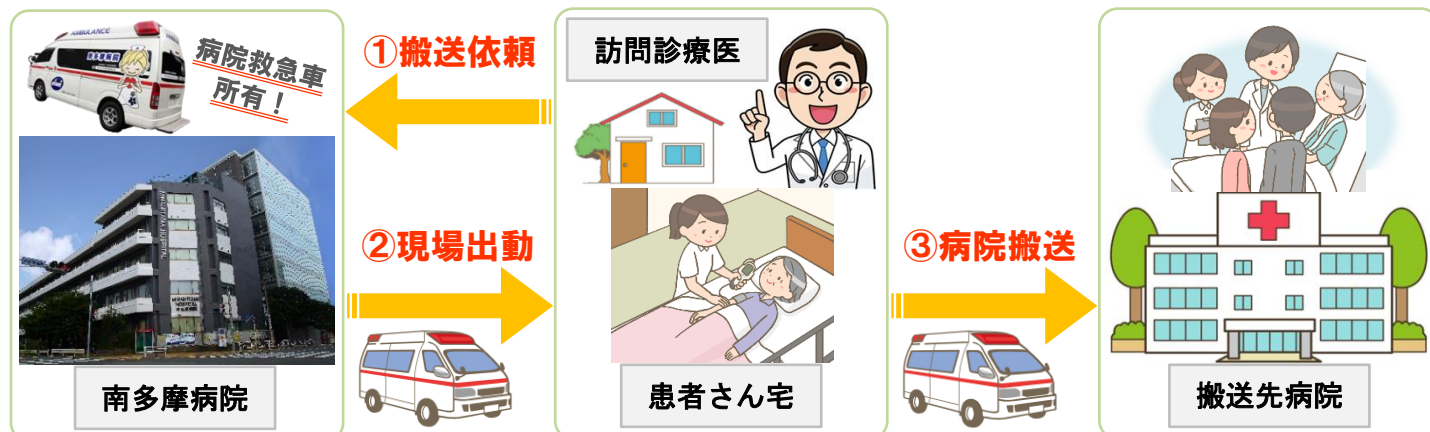
患者さん主体の医療

私たちが日々の医療でいちばん大切にしていることは、患者さん本位の治療を行うことです。そのために、患者さん、ご家族とのコミュニケーションを大事にしています。訪問看護師や薬剤師など介護に携わる他職種とも密に連絡を取り合ったり、ご家族を交え一堂に会したカンファレンスを行うなど、患者さんの気持ちに寄り添った医療を心掛けています。これはまた、ご家族の生活を守り、介護負担を減らすという意味でも大変重要なことだと感じています。



緊急時対応に強い訪問診療

在宅医療を受けている患者さんの一番の心配事は、急に体の不調が現れたり、けがをした時に、すぐに診療を受けられるのか、あるいは入院することができるのか、という不安感であると言われています。当院では、医師が往診を行うほか、24時間365日救急外来での診療も可能であり、必要に応じて入院して頂くこともできます。また、当院が所有している救急車を利用して病院に救急搬送を行うこともあります。救急病院の強みを生かした“緊急時に強い在宅医療”の提供は、他の医療機関にはない当院の大きな特徴だといえます。

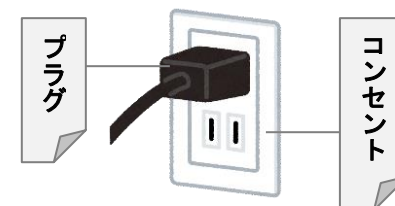


コンセントについて

臨床工学科

みなさんは病院に来たとき、穴の数や色の違うコンセントを見かけたことがありますか？病院には、一般家庭には無い特殊なコンセントがあります。今回はみなさんも日常的に使っているコンセントについて紹介します。

「コンセント」というと、色々な機械についているケーブルのことを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか？実は、コンセントとは壁に取り付けられている差込口のことを言います。



アースとは



←画像のようなプラグを見たことはありませんか？プラグの横に線が出ています。この線のことをアース線と言います。アースとは「接地」のことで機械と地面を電氣的につなぐことを言います。アースをすると機械からの余分な電気を地面に逃すことができるので、感電や落雷被害、電磁波などを軽減し、より安全に機械を使用することができます。

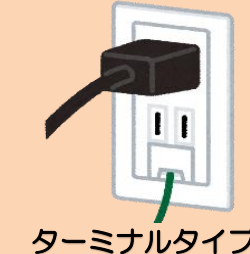
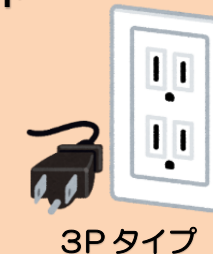
一般的なコンセント

主に一般家庭で使われているコンセント。



アース付きコンセント

電子レンジや洗濯機、病院などで使われることのあるコンセント。



もしご家庭で使用している電子レンジや洗濯機のアース線をつないでいないという方は、つないでみてはいかがでしょうか。



アースをすることでより安心・安全に使用できます！

色付きコンセントについて



一般的なコンセントと言えば白色ですが、病院には赤色や緑色の色付きコンセントがたくさんあります。色付きコンセントは非常電源と呼ばれるもので、停電してからすぐに電気が回復するように、発電機や無停電電源と呼ばれるものに接続されています。よって、停電しても電気が切れることなく供給できるため、生命に関わるような医療機器も安心して使用することができます。

色付きコンセントは医療機器を優先して使用するため、一般の方はご使用をお控えください。

一般・特別非常電源	無停電非常電源
赤色 主に、輸液ポンプや内視鏡、電気メスなどの「計測・診断・治療機器」に接続されます。	緑色 主に、人工心肺装置や人工呼吸器、無影灯などの「生命維持装置・治療機器」に接続されます。